

## 大繁盛 小学校での出前授業

京都市では、大気汚染防止法に基づき大気の汚れを常時監視している測定局が現在19局ありますが、そのうちの3局は小学校の校内に設置されています。

衛生公害研究所ではその維持管理の仕事を行っていますが、4年前から環境教育の一環としてその小学校で「空気の汚れを計ってみよう」と出前授業を始めました。

これは校内の測定局を見学するのはもちろんのこと、当研究所の職員が開発した簡易測定装置を使って教室の空気や自動車の排気ガスなどを実際に生徒が測定実験し、その汚れ具合を実感しながら環境問題を考えるという取組みです。

この装置は化学知識の少ない小学生にも理解できるように、見た目ではわからない空気の汚れを装置内の液体が色付くことでその汚染状況がわかるように工夫されたものです。教室の空気が汚れてないので安心する一方、自動車の排気ガスが濃い色になると子供達はあらためて汚れのひどさを感じ、どうすればよいかをみんなで話し合っていました。



現在、市内の小学校では総合学習で環境問題の授業が行われているところも多く、希望する小学校へは職員が装置を持って出前授業を行ったり、夏休みには理科の先生方にもこの装置を使って研修を行ったりしています。今年は各測定局の近くにある小学校にも声をかけたところ授業を希望する学校が増えるなど徐々に活動が広がっています。

さらに、今年からは当研究所で毎年開催しています「夏休み中学生のための生活環境教室」においてもこの装置を利用しました。

本市では環境に負担の少ない持続的発展が可能なまちづくりを目指していますが、将来の地球環境を担う子供達がこのような機会を通して環境問題に関心と理解を深めてもらうことができると期待しています。